

オープンプラン 5年生 算数
「偶数と奇数、倍数と約数」
～ **公倍数の利用**

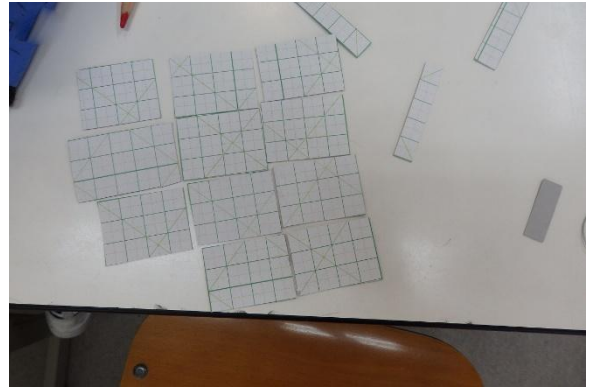
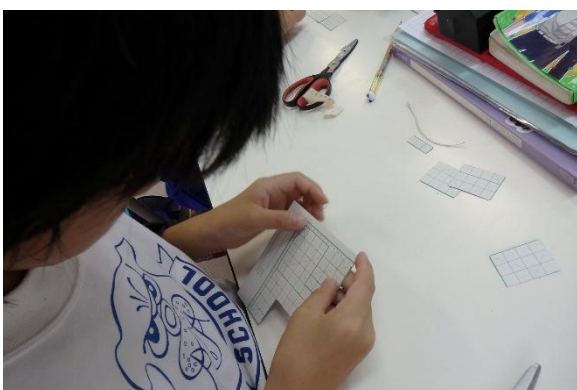
己の力で課題を解決 ～

5年生の算数では
倍数、約数を
学習しました。

今回の授業では
《縦3cm、横4cmの長方形を何枚か使って、
正方形を作れるかな？
※ただし長方形の向きは変えないように》
という課題に取り組みました。

工作用紙をいつでも
使えるところに置いているので
当たり前のように
工作用紙を
縦3cm、横4cmの長方形に
切りはじめ
何枚か作って正方形を
考えていく子どもたち。

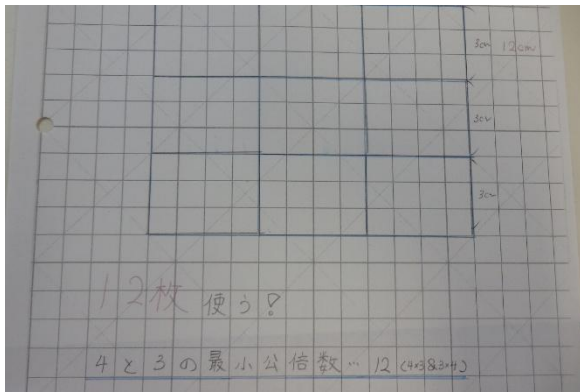
はじめは、
「長方形を使って正方形を作る」
ということに戸惑っている子もいましたが、
活動を通して
「なんだ、12枚でできるじゃん」
「えっ違う、9枚だと思う」
などなどたくさん
思考している様子が見られました。



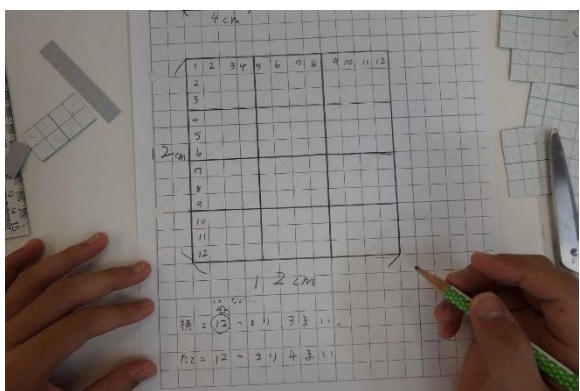
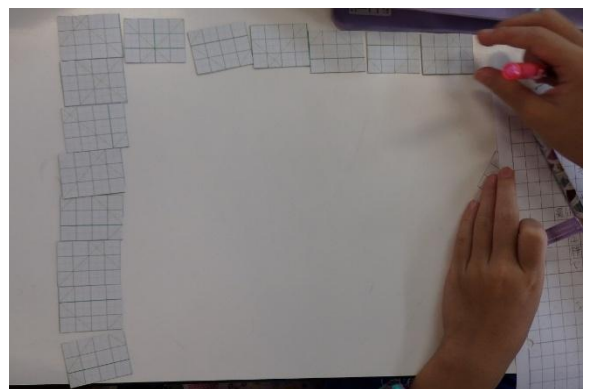
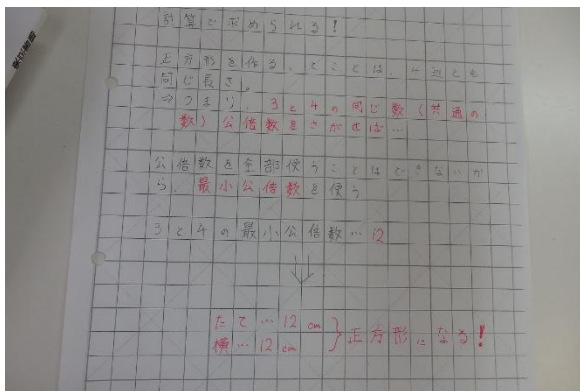
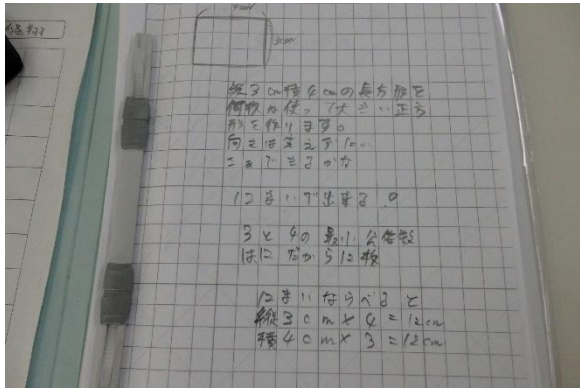
高学年の算数では
具体操作を通して
答えを出すだけではなく
どうしてその答えがだせたのか、
共通性はなにか、
どうやって考えたのか、を
さらに追求していくことが
大事だと考えています。

そこで、
問題が解決した子から
《次に正方形ができるのは
何枚のときか》
ということと
《今回の活動をノートにまとめて
友達と交流する》
ことを伝えました。

すると
縦3cm、横4cmの長方形に
着目して次の課題に取り組み
決まりを発見する子や
ノートに書くことで
この問題を解くコツを
見つける子が
たくさんでてきました。



自分の言葉で
上手にノートにまとめることで
友達への説明にも
使えます。
さらに書くことで
自分の考えを整理することが
できていました。



授業の最後には
算数では恒例の
ぐるぐるタイム!
友達のノートから
自分に生かせるものを
見つける時間です。
次の課題を
証明している子もいました。
アウトプットすることを
意識するだけで
子どもの本気度が変わります。
課題解決、そして交流まで
とても高学年らしい姿でした。

